

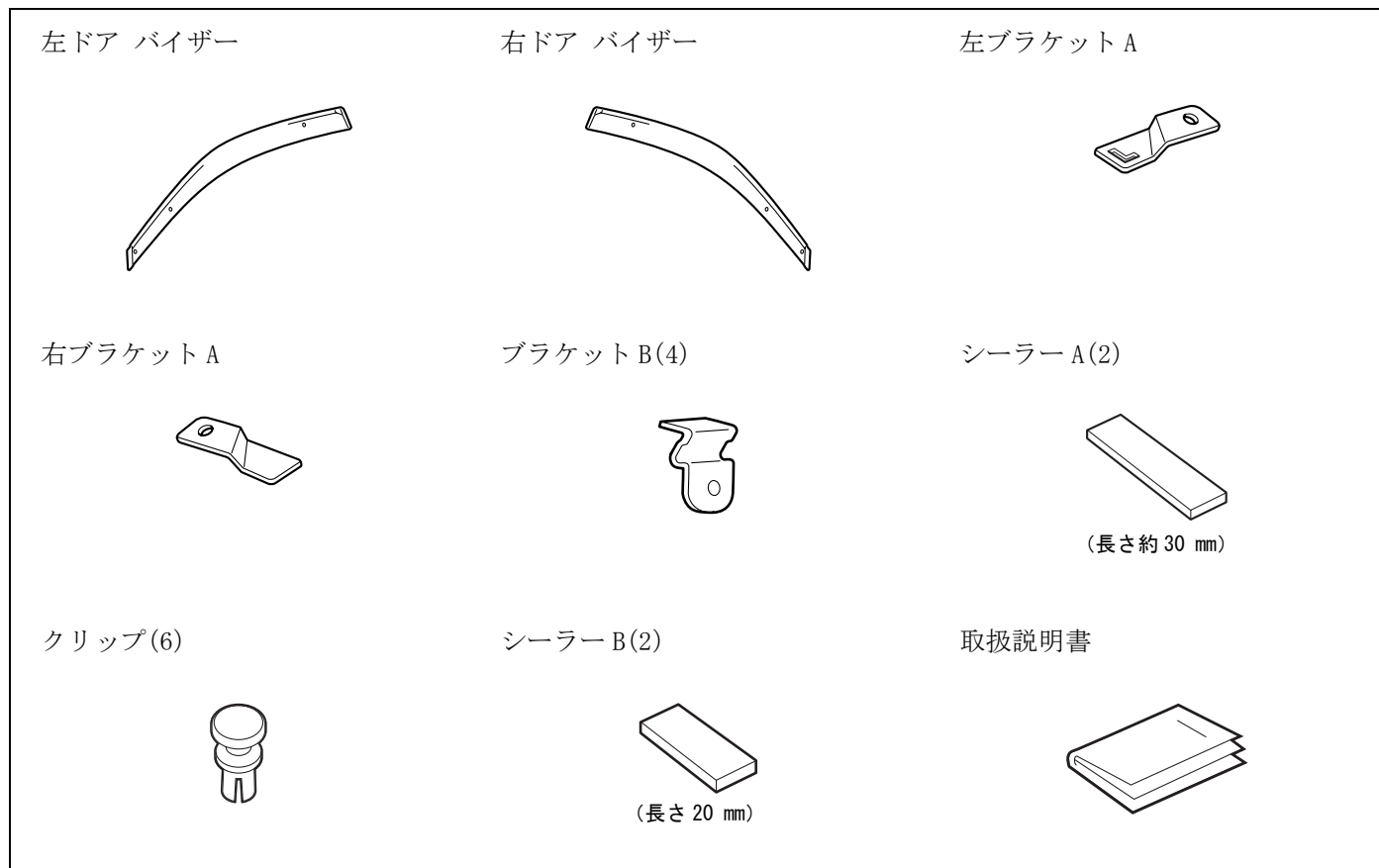
# 取付説明書

ドア バイザー

2010. 2

**CR-Z**

## 構成部品



## 必要工具 / 用具

- ・ ウェス
- ・ マスキング テープ
- ・ 脱脂洗浄剤 (Honda 純正用品)
- ・ 定規

## 取り付けをする前に

### コーション マークの説明

取り付けに関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載します。  
しっかりとお読みください。

### アドバイス

- ・ 故障, 破損するのを防ぐためのアドバイスを記載しています。
- ・ 知っておくと便利なことを記載しています。

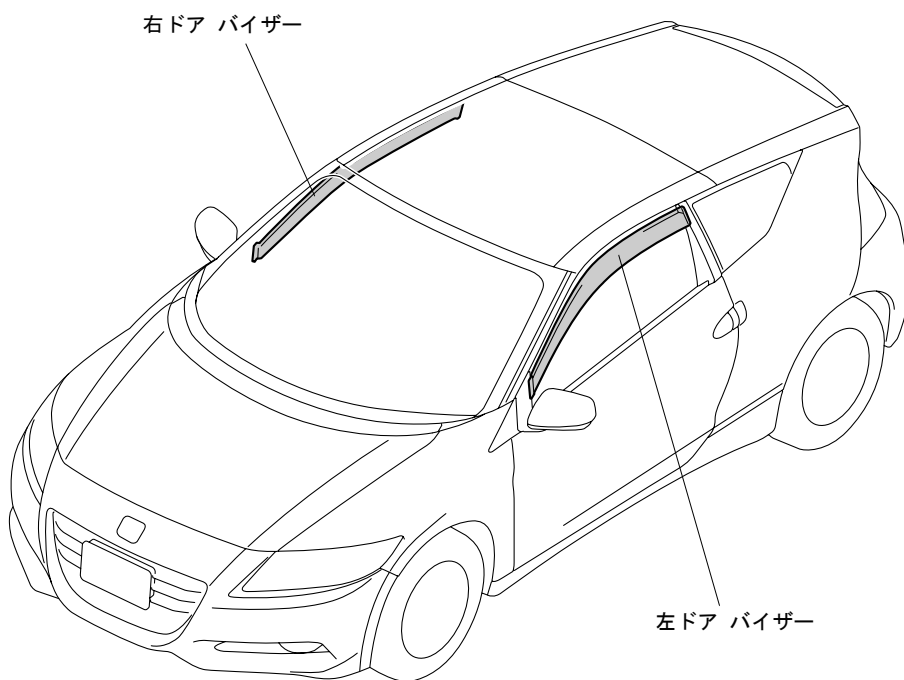
## 作業上の注意

- ・ 取り付けは車両の左側で説明しています。右側も同様に作業を行ってください。
- ・ ドアの塗装面や、ガラス ランチャネル等に傷を付けないよう注意してください。
- ・ ドア バイザー本体に衝撃を与えたり、傷を付けないよう注意してください。
- ・ ドア バイザーは、溶剤、脱脂洗浄剤に侵されやすいので注意してください。
- ・ 用品取り付けの際は、車両本体および各部品に傷を付れたり、破損しないように注意して作業を行ってください。
- ・ 車両部品を取り外す際は、復元時の事を考えて、取り付け状態を確認してから取り外してください。
- ・ シールや両面テープなどを貼り付ける際には、貼り付け面の油、ゴミ、汚れ等を、**脱脂洗浄剤**を染み込ませたウエスで完全に拭き取り、十分に乾燥させてから貼り付けてください。**脱脂洗浄剤**は、直接貼り付け面にかけて使用しないでください。

**脱脂洗浄剤は、Honda 純正用品を必ずご使用ください。**

- ・ 貼り付け作業を行う際は、車両貼り付け面の温度を 15 ～ 40℃ に保つ事を厳守してください。特に冬期の低温時には、両面テープの粘着性が低下する事があるため、車両貼り付け面を暖めてから貼り付けてください。
- ・ 貼り付け後 24 時間程度は、洗車等で貼り付け部を水で濡らさないでください。
- ・ 貼り付け時は、用品および車両部品を破損しないよう注意しながら十分に圧着してください。
- ・ 貼り付け作業を行う場合、貼り直すことのないように注意してください。貼り直しを行うと破損または両面テープの性能が十分に発揮されない場合があります。
- ・ クリップは一度取り付けると外れません。慎重に作業してください。
- ・ 上記の内容をご理解の上、車両のサービス マニュアルの整備情報と作業に関連している項に準じて作業を行ってください。特に、安全には十分注意してください。

## 取り付け概要図



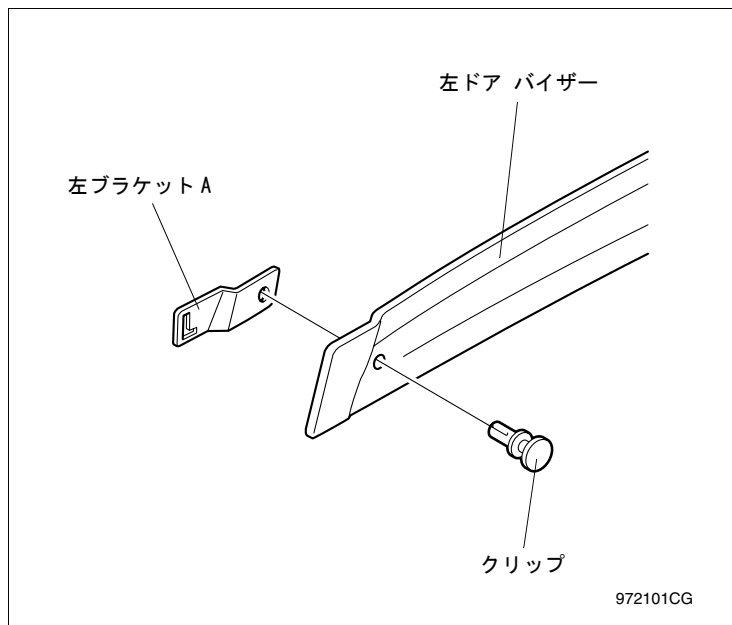
972108AG

## 取り付け方法と手順

- クリップ1本で左ブラケットAを左ドア バイザーに取り付ける。

### アドバイス

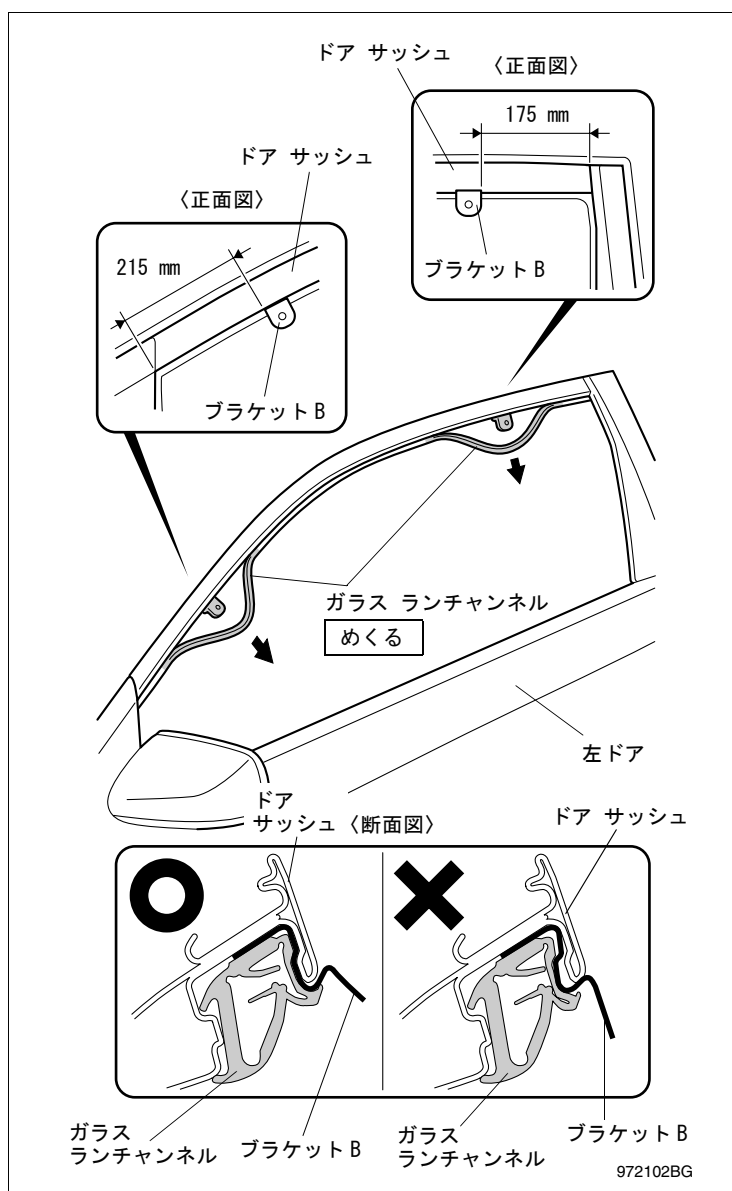
- クリップは一度取り付けると外れません。慎重に作業してください。



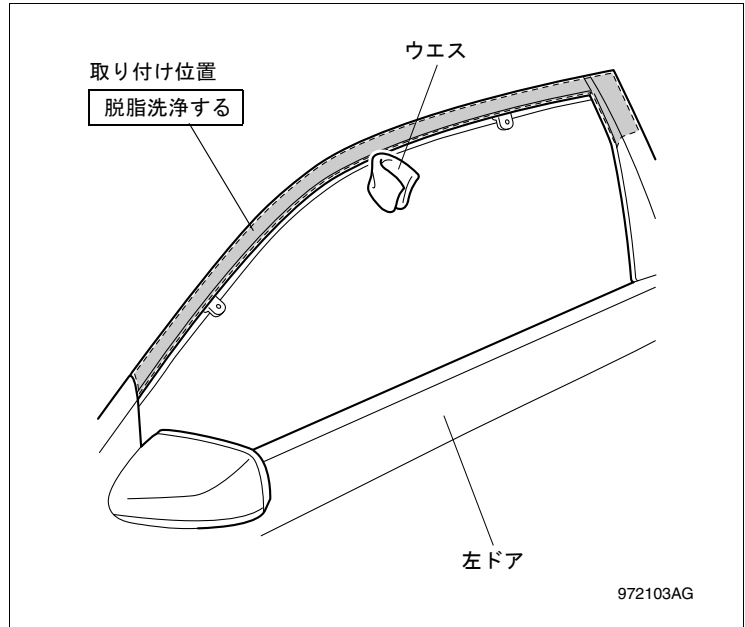
- 左ドアのウインドを全開にする。
- ガラス ランチャンネルを図のようにめくる。
- ブラケットB 2個をドア サッシュの図示寸法位置に取り付ける。
- ガラス ランチャンネルを元通りに取り付ける。

### アドバイス

- 図のようにブラケットBがドア サッシュに取り付けられていることを確認してください。
- ガラス ランチャンネルが正確に取り付いていることを確認してください。



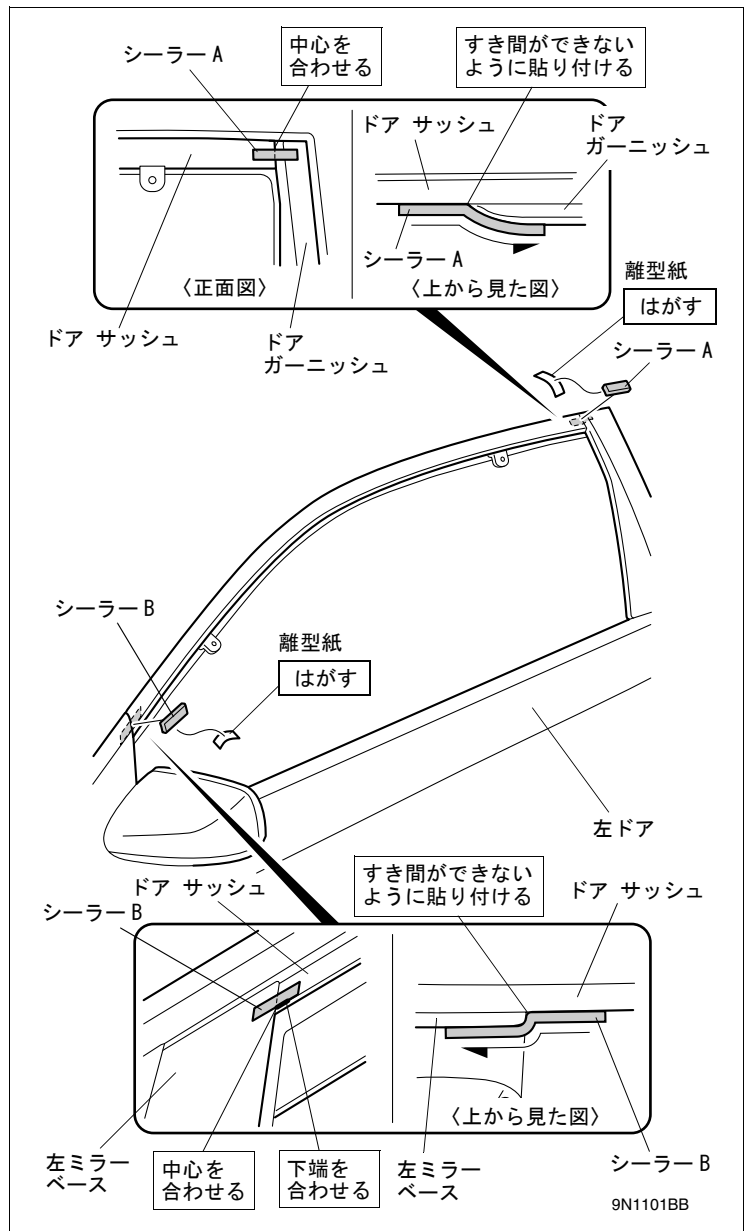
6. 左ドア バイザーの取り付け位置を確認し、脱脂洗浄剤で清掃する。



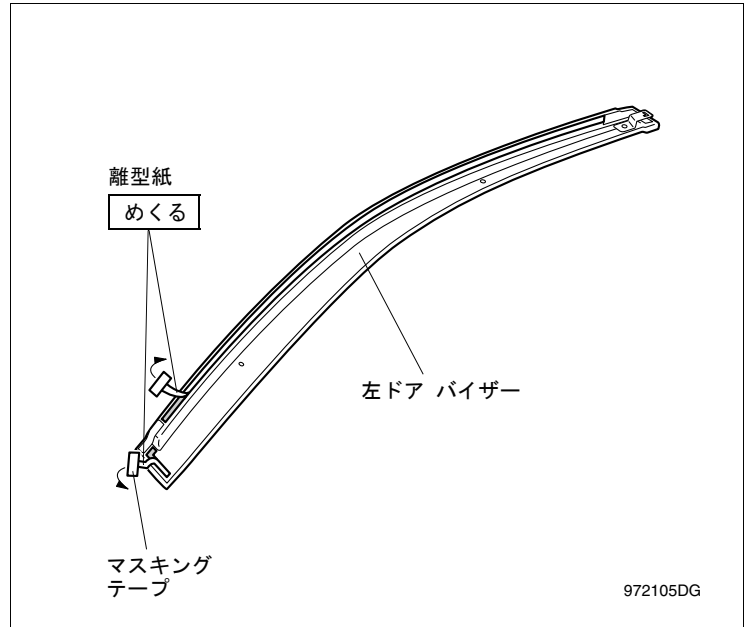
7. シーラー A とシーラー B から離型紙をはがし、左ドアの図に示す位置にドア サッシュ側から貼り付ける。

### アドバイス

- ・ シーラーを貼り付ける際は、すき間ができないように注意して貼り付けてください。



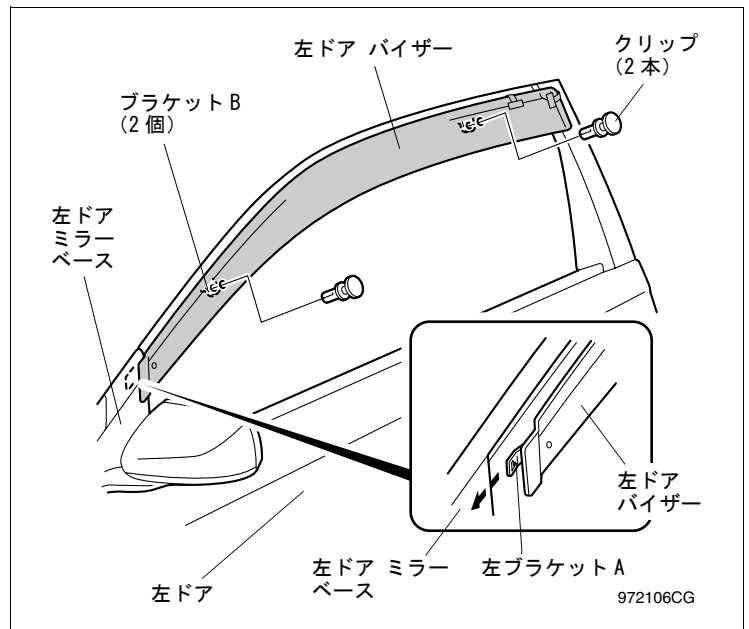
8. 左ドア バイザー裏側の離型紙2ヶ所の端にマスキングテープを貼り付けてめくり、左ドア バイザー表面に仮止めする。



9. 左ドア バイザーの左ブラケット A を左ドア ミラー ベースに差し込む。  
10. クリップ 2 本で左ドア バイザーをブラケット B 2 個に固定する。

### アドバイス

- ・ ドア サッシュとブラケットの間にすき間がないように取り付けてください。
- ・ クリップは一度取り付けると外れません。慎重に作業してください。

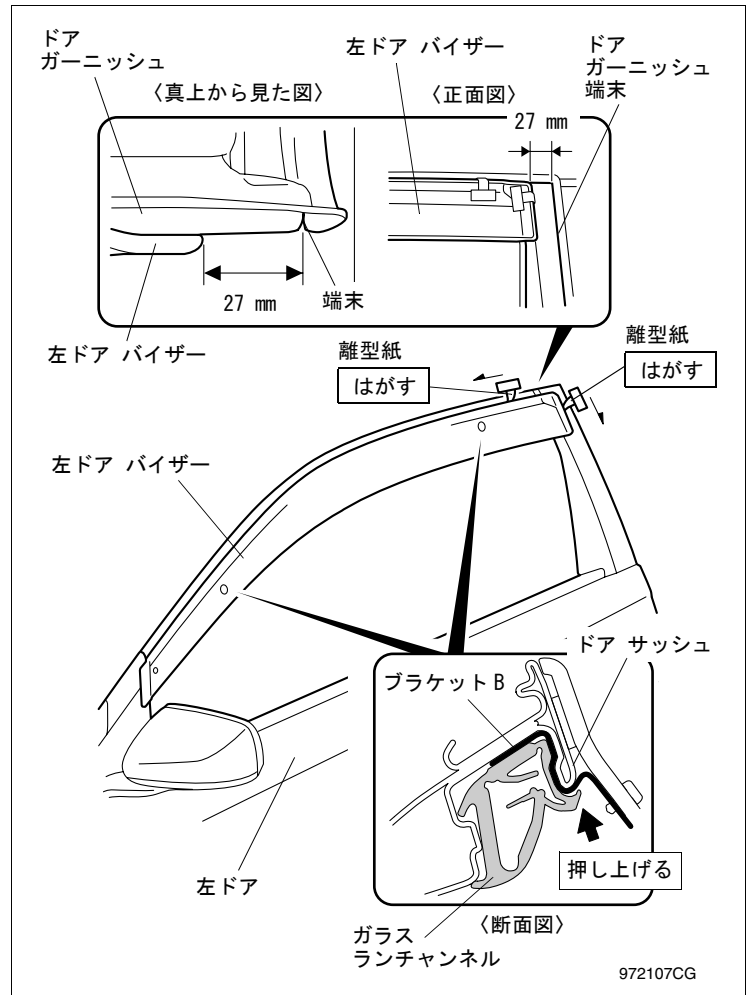


11. 左ドア バイザー表面に仮止めした離型紙2ヶ所をはがす。
12. 左ドア バイザーを傷が付かないようにウエスで押さえ、図示寸法位置に調整しながら十分に圧着する。

### アドバイス

- ・ ドア サッシュとブラケットにすき間ができないよう、ブラケットを指で押し上げながら圧着してください。
- ・ 左ドア バイザーと左ミラー ベースが干渉しないようにすき間を確認して取り付けてください。

13. 車両右側も手順1～12と同様の作業を行う。



## ドライバ パワー ウインドのリセットと学習の実施

1. ガラス ランチャネルの取り付け状態に異常がないか確認する。
  2. エンジンをスタートさせる。
  3. パワー ウインド マスタ スイッチを操作し、ウインドを半開程度から全閉までの開閉操作を4～5回程度行い、ガラス ランチャネルのかみ込み等、異常がないか確認する。
  4. 車両のサービス マニュアルに従い、ドライバ パワー ウインドのリセットを行う。
  5. 車両のサービス マニュアルに従い、ドライバ パワー ウインドの学習を行う。
- 手順 4, 5 はパワー ウインド挟み込み防止機能を正常に作動させるための作業です。オート UP/DOWN 機能が設定されている全てのパワー ウインドで実施してください。



## 取り扱い上のご注意

下記の注意事項はお客様に必ずお伝えください。

- ドア バイザーが汚れた場合は水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は中性洗剤で洗ってください。揮発性の薬品（シンナー、ベンジン、アルコールなど）や研磨剤入りのクリーナーなどは使用しないでください。